
「5cm 超浅層発生高悪性度軟部肉腫の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2008 年 8 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターの骨・軟部組織腫瘍科を受診し、5cm 超浅層発生高悪性度軟部肉腫と診断され、治療を実施した 18 歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

5cm 超深層発生の高悪性度軟部肉腫は遠隔転移のリスクが高く、エビデンスレベルが高い研究がなされています。一方で「浅層発生」5cm 超の高悪性度軟部肉腫に対して周術期補助化学療法を行う適応は未だ不明です。今回 5cm 超浅層発生高悪性度軟部肉腫について検討し、その遠隔転移リスク、化学療法の必要性について明らかにすることを目的とする。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より 1 ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

臨床情報：診断時年齢、性別、初診日、診断日、初診時状況、前治療の有無、病期、病理診断

治療：原発巣手術、再発巣手術、転移巣手術、化学療法、放射線治療

予後：最終観察日、局所再発、遠隔転移、最終観察時転帰

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターの骨・軟部組織腫瘍科、研究責任者である鳥越知明が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

5cm 超浅層発生高悪性度軟部肉腫と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科・整形外科 鳥越知明（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科/整形外科 鳥越知明

住所：350-1298 埼玉県日高市山根

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：5cm 超浅層発生高悪性度軟部肉腫の検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 骨・軟部組織腫瘍科/整形外科 鳥越知明